

久山中便り

久山中学校

令和8年7月3日発行

第28号

あっという間の2週間

教育実習終了

6月22日(月)から始まった2週間の教育実習も本日で終了。本校卒業生の先輩から、たくさんの方のエネルギーをいただいたことだと思えます。



最後は、国語の査定授業(実習の評価を行う授業です)を二年三組で行いました。教材は、「徒然草(つれづれぐさ)」。兼好法師の随筆の特徴を踏まえたオリジナル随筆づくりです。

そもそも「つれづれ」というのは、特別なことでなく、心に浮かんだたわいもない日常の思い付きを素直に書き留めていくこと。そんな日常の体験を深く考察できるかが、オリジナル随筆作成のポイントとなります。さて、二年生の出来栄はどうだったのでしょうか。

「最近気になるのは、ズボンの後ろにチョークの粉がついている先生です。先生は、気付いてないけど、気になって仕方ありません。」というような日常を切り抜いた作品がありました。学校内ではよくあることですが、そこに注目して、書き留めた感性が光る作品だと思います。(今後先生方も気にするかな...)授業では、お互いの作品を交換しながら、最も評価の高い作品が発表されました。たった2週間で生徒達とすっかりコミュニケーションをとった実習生の先輩は、きつと素晴らしい先生になることだと思います。

いずみ学級バザー

2日(木)は、いずみ学級で調理バザーを行いました。メニューは、「タコライス」「タコス(ハム、野菜、玉子など)。

盛り付けも上手だし、味もまあまあ。いやいや美味しかったです。タバスコ入れすぎましたが...

たくさんの方にも食べていただいたようです。味が心配だったのか、感想を求められている様子もうかがえました。作業したり制作したりする活動は、今後も継続していきます。



「祭りひさやま」に向けても制作物を作成中です。

今後のいずみ学級の活動に期待しています。

公開授業で発表

2日(木)は、二年二組で、英語の公開授業を行いました。外部の先生にも参観いただき、生徒の皆さんの学習状況や先生とのやり取りなどについて、御意見をいただきました。学習内容は、ALTに福岡の夏の魅力あるスポットや食事などを紹介する英文をつくることです。

文法上の「不定詞の使い方」や、夏を意識した内容が盛り込まれているかなどを、グループで点検して、お互いの英文を、より伝わりやすい英文へと仕上げていきます。

「志賀島」や「大宰府」など、おなじみの観光スポットの名所や食事処が、副詞や形容詞などを使って相手に伝わりやすい表現で修正できていました。

「話し合い活動」は、

久山中の学習活動の軸となるものです。仲間との交流で、自身の考えや意見をさらに高めてほしいと思います。

